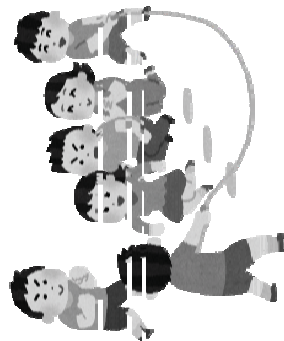


## 用 語 説 明

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
保育所(園)	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育所(園)の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもにも関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
さくらんぼ園 発達相談室	就学前の子どもの発達に関する相談(歩き始めが遅い、言葉が遅い、落ち着きがない、友達とうまく遊べないなど)を受けている施設です。通園部門として、子ども発達支援センターさくらんぼ園があります。
わくわく☆ひろば (放課後子ども総合プラン)	小学校の教室や校庭、体育館などを使い、放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業中に開催します。専任の指導員や地域の大人たちに見守られ、子どもたちが安心して伸び伸びと過ごせる活動場所や生活の場を提供するものです。学年を越えた交流を図りながら、宿題や復習などの学習活動、体験学習、校庭遊びやスポーツなどが体験できます。登録には『放課後子ども教室(一般登録)』と『学童クラブ(学童クラブ登録)』があります。
	＜放課後子ども教室(一般登録)とは＞ 小学校1～6年生の児童すべての児童が対象です。教室や校庭等を活動場所、子どもたちの遊び場・学ぶ場を提供します。(自由参加・自由帰宅)利用にあたっては登録が必要です。
	＜学童クラブ(学童クラブ登録)とは＞ 保護者が就労等により育成が必要な家庭の児童が対象です。対象は小学校1～3年生の児童です。※4年生以上は学童クラブ特例として一般登録を利用します。保護者の申請に基づき、区が利用者を決定します。
放課後等デイサービス	通学中の障害児に対して、放課後や学校休業日に放課後等デイサービス事業所において生活能力向上のために必要な訓練を行うとともに、居場所づくりを行います。
子どもセンター	子どもセンターは、乳幼児親子が安心して1日過ごせる居場所です。年間を通して乳幼児クラブ活動や子育てに関する相談事業など、乳幼児親子への支援を行っています。
ティーンズセンター	ティーンズセンターは、中高生世代の居場所を提供している施設です。



## 北区の子ども・子育て支援に関するニーズ調査にご協力ください

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえ平成26年度に策定した、「北区子ども・子育て支援計画2015」の改定にもなりたい、区民の皆様へのニーズを把握するために行うものです。

**調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、現在の率直なお考え・希望等をお答えください。**

この調査をお願いする方は、区内に在住の世帯主と子ののみで構成されている世帯の18歳以下のお子さん、保護者の方、1,000人の方を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成30年10月  
東京都北区 東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、宛名のお子さんの保護者の方を「あなた」と表記しています。
- 特にご住所の欄は、宛名の宛名のお子さんについて保護者の方がお答えください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、( ) 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24時間制(例:「午後4時」は「16時」)でご記入ください。
- 特にご住所の欄は、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- アンケートに関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

北区教育委員会事務局 子ども未来部子育て施策担当課  
電話：03-3908-8143  
FAX：03-3908-1341

ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒にて10月31日(水)までにご返函ください。

**世帯の状況についておたずねします**

問1 あなたは現在どちらにお住まいですか。記入例のように、丁目までお答えください。  
(記入例：赤羽1丁目、豊島2丁目、田端3丁目、岩淵町など)

丁目

問2 あなたは北区に何年お住まいですか。(1つに○)

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上3年未満
- 3. 3年以上5年未満
- 4. 5年以上10年未満
- 5. 10年以上15年未満
- 6. 15年以上20年未満
- 7. 20年以上

問3 北区にお住まいの理由をお答えください。(1つに○)

- 1. 生まれつきたときから北区に居住し続けている
- 2. 職場に行きやすい(通勤に便利)
- 3. 親・親せきが近くにいる
- 4. 住宅価格や家賃が手頃である
- 5. 医療や福祉が充実している
- 6. 保育・子育て支援が充実している
- 7. 教育環境がよい
- 8. 自然環境がよい
- 9. まちのイメージがよい
- 10. その他( )

問4 このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。主にお答えになる方一人に○をつけてください。(1つに○)

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. その他( )

問5 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を( )内に数字でご記入ください。また、お子さんの年齢(平成30年4月1日現在の年齢)をご記入ください。

( )人 宛名のお子さんの年齢 ( )歳 ( )歳 ( )歳 ( )歳 ( )歳 ( )歳

宛名以外のお子さんの年齢 ( )歳 ( )歳 ( )歳 ( )歳 ( )歳 ( )歳

問6 あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

- 1. 19歳以下
- 2. 20歳～29歳
- 3. 30歳～39歳
- 4. 40歳～49歳
- 5. 50歳～59歳
- 6. 60歳以上

問7 あなたご自身も含めた世帯の人数をお答えください。□内に数字でご記入ください。

人

問8 宛名のお子さんと同居されている方、近居(概ね30分以内程度で行き来できる範囲)の方はどなたですか。籍柄は、宛名のお子さんからみられた関係です。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 父母同居
- 2. 父同居(ひとり親家庭)
- 3. 母同居(ひとりの親家族)
- 4. 祖父母同居
- 5. 祖父母近居
- 6. その他( )

**問8-1、問8-2は、問8で「2」または「3」と回答した方にかがいます。それ以外の方は、問9へお進みください。**

問8-1 ひとり親世帯になった理由をお答えください。(1つに○)

- 1. 離婚
- 2. 死別
- 3. 未婚
- 4. 別居
- 5. その他( )

問8-2 ひとり親世帯になった時期をご記入ください。

平成( )年

**北区の子育ての環境についておたずねします**

問9 北区における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

満足度が低い ← 1 2 3 4 5 → 満足度が高い

**問9-1は、問9で「4」「5」と回答した方にかがいます。**

問9-1 満足度が高いと思った理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 住環境がよい
- 2. 自然環境がよい
- 3. 交通機関が便利
- 4. 保育園などに入りやすい
- 5. 幼稚園などに入りやすい
- 6. 保育サービスが充実している
- 7. 公園や児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)など子どもの遊び場が多い
- 8. 近所つきあいや地域活動が盛ん
- 9. 地域の子育てネットワークができています
- 10. 子育てに関する情報が得やすい
- 11. 事故や犯罪が少なく安全
- 12. 学校教育が充実している
- 13. 放課後対策が充実している
- 14. 医療機関が充実している
- 15. その他( )

**問9-2は、問9で「1」「2」と回答した方にかがいます。**

問9-2 満足度が低いと思った理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 住環境がよくない
- 2. 自然環境がよくない
- 3. 交通機関が不便
- 4. 保育園などに入りにくい
- 5. 幼稚園などに入りにくい
- 6. 保育サービスが充実していない
- 7. 公園や児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)など子どもの遊び場が少ない
- 8. 近所つきあいや地域活動が盛んではない
- 9. 地域の子育てネットワークができていない
- 10. 子育てに関する情報が得にくい
- 11. 事故や犯罪が多く危険
- 12. 学校教育が充実していない
- 13. 放課後対策が充実していない
- 14. 医療機関が充実していない
- 15. その他( )

問 10 今後も、北区で子育てをしたいと思えますか。(1つに○)

1. ずっと北区で子育てをしたい
2. 当分の間は北区で子育てをしたい
3. できれば北区以外の区市町村で子育てをしたい
4. 近いうちに転出するつもりである
5. その他 ( )

### 地域での子育て支援についておたずねします

問 11 あなたの周りには子育ての仲間がいますか。(1つに○)

1. 子どもを預けることができるくらいの仲間がいる
2. 話をする仲間がいる
3. いない

問 12 あなたは子育てサークルなどのグループ活動に参加していますか。(1つに○)

1. 参加している
2. 参加していない

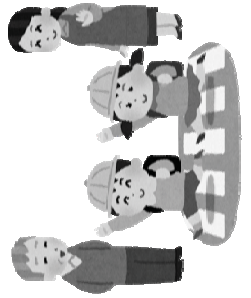
問 12-1は、問 12 で「2. 参加していない」と回答した方にかがいます。それ以外の方は、問 13 へお進みください。

問 12-1 参加していない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

1. 既に他の仲間がいる
2. 親同士の人間関係が難しい
3. 参加する機会がない
4. グループに関する情報が無い
5. 必要がない(興味がない)
6. その他 ( )

問 13 安心して子育てををするためには、地域でどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育て中の人や子育て経験者が身近に集まれる場や仕組みをつくる
2. 子育て中の親子が集まったり遊べる場を増やす
3. 子育てサークルなどのグループの自主的な活動がしやすい仕組みをつくる
4. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
5. 子どもと親と一緒にできる活動を増やす
6. 地域の大人達が連携して、子どもの活動を育成・支援する場をつくる
7. 学校や保護者、地域の人たちが協力し、子どもの安全や非行防止の活動をする
8. その他 ( )
9. 特に必要ない



### 子育ての困りごと、相談先についておたずねします

問 14 子どもの養育費について取り決めをしていますか。(1つに○)

1. 取り決めをしていない
2. 現在、協議中である
3. 取り決めをしているが、養育費をもらっていない
4. 取り決めがあり、養育費をもらっている
5. 取り決める相手がいない(死別など)

問 14-1は、問 14 で「1」から「3」のいずれかに回答した方にかがいます。それ以外の方は、問 15 へお進みください。

問 14-1 養育費等に関する法律相談(無料)を利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 現在、利用している
2. 今後、利用したいと思う
3. 利用しない

問 15 ひとり親世帯になったときに、困ったこと、悩んだことをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 保証人が見つからず、住宅が借りられなかった
2. ひとり親世帯のため賃貸住宅に入居できなかった
3. 公営住宅に落選し、入居できなかった
4. 就職先が決まらなかった
5. 就業に関する相談先、情報入手先がわからなかった
6. 子どもが保育所に入れなかった
7. 子どものしつけ
8. 子どもの養育費(教育費など)
9. 生活費が不足した
10. 炊事洗濯等の日常の家事ができなかった
11. ひとり親のための制度などを、どうやって調べたらよいかわからなかった
12. その他 ( )

問 16 あなたには、現在困ったことや悩み事を相談できる人がいますか。(1つに○)

1. いる
2. いない

問 17 相談できる相手がいる方は、その相談できる人は誰ですか、また、相談できる人がいない方は、誰(どこ)だったら相談したいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親・親族
2. 知人・友人・隣人
3. 民生委員・児童委員
4. 区役所相談窓口の職員
5. 職場の上司・同僚
6. 民間団体やボランティア
7. 母子自立支援員
8. インターネットの相談サイト
9. そらまめ相談室(ひとり親家庭等相談室)
10. その他 ( )

問 18 宛名のお子さんの子育て(家庭での教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんから見た関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 母親
2. 父親
3. 祖父母
4. 幼稚園
5. 保育所
6. 認定こども園
7. その他 ( )

**就労状況についておたずねします**

問 19 あなたは、現在収入を伴う仕事をしていますか。(1つに○)

1. していない 2. している 【問 20へ】

問 19-1 は、問 19 で「1. していない」と回答した方にかがいます。

問 19-1 あなたは、現在働きたいと思っていますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ 【問 26へ】

問 19-2、問 19-3 は、問 19-1 で「1. はい」と回答した方にかがいます。

問 19-2 働きたいと思われているのに、働いていない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事の採し方がわからない
2. 収入について条件のあう仕事がない
3. 時間について条件のあう仕事がない
4. 年齢制限のため仕事がない
5. 仕事に必要な専門知識や資格がない
6. 子どもの保育の手立てがない
7. 自身の健康などの問題がある
8. 子どもの健康上の不安などの問題がある
9. 家族(親など)を介護している
10. 学校や職業訓練などを受講中
11. その他 ( )

----> 【問 19-3へ】

問 19-3 仕事に就く場合、重視することはどのようなことですか。(3つまでに○)

1. 身分が安定している
2. 休暇が取りやすい
3. 十分な収入が得られる
4. 土・日曜日に休める
5. 通勤時間が短い
6. 厚生年金や雇用保険に入る
7. 在宅でできる
8. 経験や能力を発揮できる
9. 仕事が簡単である
10. 就業時間に融通がきく
11. 残業が少ない
12. 労働時間が短い
13. 技術や技能を身につけられる
14. その他 ( )

----> 【問 26へ】

問 20 から問 25 は、問 19 で「2. している」と回答した方だけお答えください。

問 20 現在のあなたの職業は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 常勤(フルタイム)
2. パート・アルバイト
3. 自営業(手伝い含む)
4. 内職・在宅就労
5. その他 ( )

問 21 現在のあなたの職業は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

1. 専門的・技術的職業従事者(技術者、システムエンジニア、保健師、看護師、保育士、教員など)
2. 事務従事者(一般事務員、会計事務員、集金人、オペレーターなど)
3. 販売従事者(販売店員、不動産仲介・売買取手、営業、保険外交員など)
4. サービス職業従事者(理・美容師、飲食店店員、管理人、介護職員など)
5. 製造・機械設備従事者(製造業、組立業、整備業、修理業など)
6. 輸送・機械運転従事者(タクシー運転手、トラック運転手など)
7. 建設従事者(大工、配管工、土木・建築作業員など)
8. 運搬・清掃・包装等従事者(配達員、清掃員など)
9. その他 ( )

問 22 現在の仕事を始めた時期はいつですか。(1つに○)

1. ひとり親世帯になる前から 2. ひとり親世帯になってから

問 23 現在の仕事の一週間あたりの勤務日数、残業時間を含めた一週間あたりの平均就業時間、働いている日の平均帰宅時間について、それぞれの( )の中にご記入ください。時間は、必ず、18時、のようにならぬように24時間制でご記入ください。

①一週間あたりの平均勤務日数	約 ( ) 日
②一週間あたりの平均就業時間	約 ( ) 時間
③働いている日の平均帰宅時間	( ) 時頃

問 24 あなたは、転職する希望がありますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

問 25 問 24 で「はい」とお答えになった方は、どのような点を重視して新しい仕事・職場を選びますか。また、「いいえ」とお答えになった方は、現在の仕事・職場の良いところをお答えください。(3つまでに○)

1. 身分が安定している
2. 休暇が取りやすい
3. 十分な収入が得られる
4. 土・日曜日に休める
5. 通勤時間が短い
6. 厚生年金や雇用保険に入る
7. 就業時間に融通がきく
8. 経験や能力を発揮できる
9. 仕事が簡単である
10. 在宅でできる
11. 労働時間が短い
12. 残業が少ない
13. 技術や技能を身につけられる
14. その他 ( )

**制度利用についておたずねします**

問 26 宛名のお子さんは学童クラブ(学童保育)を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している 2. 利用していない 3. 以前、利用していた

問 27 は、小学生のお子さんがある方にうかがいます。それ以外の方は、問 28 へお進みください。

問 27 あなたが帰宅するまで、お子さんはどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅でひとりで過ごしている
2. 自宅で家族と過ごしている
3. 友達や兄弟姉妹と公園などで遊んでいる
4. 友達や兄弟姉妹と家の中で遊んでいる
5. 小学校で遊んでいる(校庭開放)
6. 同居していない親族や知人宅で過ごしている
7. わくわく☆ひろば(放課後子ども総合プラン) <放課後子ども教室(一般登録)>で過ごしている
8. わくわく☆ひろば(放課後子ども総合プラン) <学童クラブ(学童クラブ登録)>に参加している
9. 学習塾や習い事に行っている(民間学童含む)
10. スポーツクラブに参加している
11. 図書館、児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)、文化センター等の公共施設に行っている
12. 学校の部活動に参加している
13. 放課後等サービスで過ごす
14. その他 ( )
15. わからない



問 28 北区が実施している制度・事業についておたずねします。下記の事業を知っていたり、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。  
 (①～⑬の制度・事業ごとに、A、Bそれぞれについて、該当する番号に○)

	A 認知度		B 利用意向	
	1 知っていたことがある	2 利用しているが、ことはない	3 知らなかった	利用したい / 利用したくない
【記入例】 ①-ぞらまめ相談室 (ひとり親家庭等相談室)	1	2	3	2
①-ぞらまめ相談室 (ひとり親家庭等相談室) (子育て中のひとり親家庭や、ひとり親で子育てをすることに不安を抱えるご家庭の相談室です。日頃の悩みや子育てから、生活に関わるお困りごとまで、幅広くご相談に応じ、支援制度などをご案内します。)	1	2	3	2
②北区福祉事務所の母子・父子自立支援員への相談	1	2	3	2
③ひとり親家庭等医療費助成制度 (母が受けるには、所得の制限がありますが、ひとり親世帯等(父または母が重度障害者の場合も含む)で、18歳に達した年度の3月末日(一定の障害がある場合は20歳未満)までのお子さんごと、そのお子さんを養育している方に対して、保険適用医療費自己負担分の全額または一部を補助します。)	1	2	3	2
④児童育成手当・児童扶養手当 (手当を受給するには、所得の制限がありますが、ひとり親世帯等(父または母が重度障害者の場合も含む)で、18歳に達した年度の3月末日(一定の障害がある場合は20歳未満)までのお子さんを養育している方、手当を支給する制度です。)	1	2	3	2
⑤ひとり親家庭休養一人事業 (ひとり親家庭のお子さん(18歳未満)に親子そろってレクリエーションを楽しんでいただくため、北区独自の白眉の施設(アトリ・洞窟地)の利用料の一部を助成する、ひとり親家庭休養一人事業を行っています。)	1	2	3	2
⑥ひとり親家庭自立支援プログラム(就労計画書)策定 (北区内に住む、児童扶養手当を受給しているひとり親家庭の父または母を1人に、個々に合わせた自立支援プログラム(就労計画書)を策定し、専任の就職支援員が公共職業安定所と連携して、ひとり親家庭の父または母の就労を支援します。)	1	2	3	2
⑦ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業 (ひとり親家庭の父または母が、その能力を開発し、就職につぐために受講した教育訓練の費用の一部を区が給付することによって、ひとり親家庭の自立を支援する事業です。)	1	2	3	2
⑧ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金事業 (ひとり親家庭の父または母の経済的な自立を促進するため、就業に結びつた資格の取得及び技能の修得を支援します。修業期間中の生活の負担を軽減する目的で給付金を支給する事業です。)	1	2	3	2
⑨ひとり親家庭高等専攻卒業程度認定試験合格支援事業 (ひとり親家庭の父または母及び子が、高等専攻卒業程度認定試験の合格のために受講する講座(通信講座を含む)費用の一部を区が支給し、高等専攻卒業程度認定資格の取得を支援する制度です。)	1	2	3	2
⑩福祉資金貸付(母子福祉助成金)貸付 (区で、お金の貸付が困難な母子世帯の母子福祉助成金をお貸しし、生活の調達が困難な母子世帯の母子福祉助成金をお貸しします。)	1	2	3	2
⑪福祉資金貸付(東京都母子及び父子福祉資金) (東京都は、ひとり親家庭の方々が経済的に自立して、安定した生活を送るために必要とする資金をお貸ししています。)	1	2	3	2
⑫母子生活支援施設 (区内在住で、生活上のさまざまな問題を抱える、子ども(18歳未満の児童)の養育にお困りの母子世帯の生活を支援する児童福祉施設です。)	1	2	3	2
⑬こころと生き方・DV相談 (DV、夫婦、親子関係、離婚や学校でのセクシュアル・ハラスメントや人間関係など、生きていく上で様々な問題の相談に応じます。)	1	2	3	2
⑭女性のための法律相談 (離婚や相続、借入金や滞り、職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント(雇用・労働上のトラブル)など、身の回りで起こる様々な問題に対して、女性弁護士が相談に応じます。)	1	2	3	2

問 29 あなたは就職や仕事のため、区からどのような支援を望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 技能講習、職業訓練などの機会が増える
2. 訓練受講などに経済的援助が受けられる
3. 仕事を探したり、訓練受講などの際に子どもを預かってもらえる
4. 相談が一か所できるといい
5. 就労のための支援策などの情報が得られる
6. 保育園にすぐ入れる
7. 延長保育、休日保育が充実する
8. 病気の子どもを預かってもらえる
9. 学童クラブにすぐ入れる
10. 仕事から帰宅するまでの間、子どもを預かってくれる
11. 親が病気の時、一時的に子どもを預かってくれる
12. 子どもが病気で保育園に行けないときなど、自宅で面倒を見てくれる人を派遣してもらいたい
13. 母子家庭・父子家庭の就職相談や求職情報、養育費の相談など生活支援サービスを利用できる
14. 就職のための資格・技能を取得する講習会等の受講費用を援助する
15. 長期(2年以上)に渡って資格・技能の訓練を受講するときに、生活費の支援を受ける
16. その他 ( )

**宛名のお子さんの子育て全般についておたずねします**

問 30 あなたは子育てが楽しいですか。(1つに○)

1. とても楽しい
2. つらいこともあるが楽しいことの方が多い
3. 楽しいことあるがつらいことの方が多い
4. とてもつらい

問 31 子育てに関して悩んでいることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの病気
2. 育児・発達が他の子と比べ遅れていると思う
3. 食事や栄養
4. しつけの方法がわからない
5. 子どもとの接し方に自信がもてない
6. 子どもとの時間を十分にとれない
7. 子どもとのほめ方やしかり方がよくわからない
8. 子育てに関する話し相手や相談相手がいらない
9. 子どもとの友達つきあひなど対人関係
10. 登園拒否や不登校など
11. 子どもの教育・塾、進路
12. 子どもの学力の遅れ
13. いじめ
14. 子どもに落ち着かない
15. 仕事や自分のやりたいことが十分できない
16. 子育て・教育費の経済的負担
17. 子どもの勉強をみてやれない
18. その他 ( )
19. 特にない

問 32 お子さんのごことで何かわからないことや困ったこと、悩みごとがあるとき、誰（どこ）に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| 1. 父母（子どもの祖父母）                            | 2. その他の親族                    |
| 3. 友人や知人                                  | 4. 近所の人                      |
| 5. 地域の子育て仲間                               | 6. 職場の上司・同僚                  |
| 7. 子ども家庭支援センター（育ち愛ほっと館）                   | 8. 児童館（子どもセンター・ティーンズセンター）の先生 |
| 9. わくわく☆ひろば（放課後子ども総合プラン）＜学童クラブ＞           | ＜学童クラブ登録＞の先生                 |
| 10. わくわく☆ひろば（放課後子ども総合プラン）＜放課後子ども教室（一般登録）＞ | の先生                          |
| 11. 保育園の先生                                | 12. 幼稚園・認定こども園の先生            |
| 13. さくらんぼ園発達相談室                           | 14. 塾・習い事の先生                 |
| 15. 学校の先生                                 | 16. 医師                       |
| 17. 健康推進課各健康支援センター                        | 18. 教育総合相談センター               |
| 19. 民生委員・児童委員                             | 20. 区や都などの公的相談機関（電話相談含む）     |
| 21. 民間の相談機関（電話相談含む）                       | 22. 育児書や育児雑誌                 |
| 23. インターネットの相談サイト                         | 24. その他（ ）                   |
| 25. 誰にも相談しない                              |                              |

問 33 宛名のお子さんとかかわる時間（会話、食事、一緒にテレビを見る、一緒に遊ぶ、風呂に入る、身の回りの世話、勉強をみるなどの合計の時間）はだいたいどのくらいありますか。（母親、父親とも平日と休日に分けてそれぞれ1つに○）

(1) 母親（父子家庭の場合は、記入は不要です）

平日（1つに○）	休日（1つに○）
1. ほとんどない	1. ほとんどない
2. 30分くらい	2. 30分くらい
3. 1時間くらい	3. 1時間くらい
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい
5. 3時間くらい	5. 3時間くらい
6. 4時間以上	6. 4時間以上

(2) 父親（母子家庭の場合は、記入は不要です）

平日（1つに○）	休日（1つに○）
1. ほとんどない	1. ほとんどない
2. 30分くらい	2. 30分くらい
3. 1時間くらい	3. 1時間くらい
4. 2時間くらい	4. 2時間くらい
5. 3時間くらい	5. 3時間くらい
6. 4時間以上	6. 4時間以上

問 34 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1. 親族（親・兄弟姉妹など）           | 2. 近所の人、知人、友人            |
| 3. 子育てサークルの仲間             | 4. 区役所の窓口                |
| 5. 保育園、幼稚園、認定こども園、学校      | 6. 子ども家庭支援センター（育ち愛ほっと館）  |
| 7. 健康推進課各健康支援センター         | 8. 教育総合相談センター            |
| 9. 児童館（子どもセンター・ティーンズセンター） | 10. 北区ニュース（広報誌）          |
| 11. テレビ、ラジオ、新聞            | 12. 市販の子育て情報誌、育児書        |
| 13. インターネット               | 14. 北区子育て応援ガイド「きたハビモバイル」 |
| 15. 子育て支援メール              | 16. その他（ ）               |
| 17. 情報の入手手段がわからない         |                          |

問 35 あなたの家庭では、宛名のお子さんに対して次のような接し方をすることがありますか。（①～⑧ごとにそれぞれ1つに○）

	よくある	たまにある	したことがある	全くない
① 子どもを加減せず感情まかせにたたく	1	2	3	4
② 子どもが傷つくような言葉、存在を否定するような言葉を使う	1	2	3	4
③ 子どもの言葉を無視し続ける	1	2	3	4
④ 子どもを突き飛ばしたり、投げたりする	1	2	3	4
⑤ 子どもに物を投げつける	1	2	3	4
⑥ 子どもに食事を与えない	1	2	3	4
⑦ 子どもを入浴させないなど不潔にさせる	1	2	3	4
⑧ 子どもを屋外や車の中に長時間放置する	1	2	3	4

### 子育てしやすいまちづくりや支援のあり方についておたずねします

問 36 子どもを健やかに産み育てるために必要と思われることはどのようなことですか。(3つまでに○)

1. 出産や子育てのしやすい就労条件を促進する
2. 出産や子育てについて気軽に相談できるようにする
3. 妊産婦や乳幼児の保健指導等を充実する
4. 親の就労形態や通勤時間に応じた保育を進める
5. 保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する
6. 保育園や幼稚園に入りやすくする
7. 子ども各人の個性を尊重した、ゆとりある教育を進める
8. 児童館(子どもセンター・チャイルドセンター)や身近な公園など、子どもの安全な遊び場を確保する
9. 子どもなど地域の健全育成活動を進める
10. 子育てを助け合うコミュニティづくりを進める
11. 自然環境を保護し、子どもが自然とふれあう体験の機会を増やす
12. 妊婦や子ども連れでも安心して自由に活動できるまちづくりを進める
13. 質の高い住まいづくりや住環境の整備を進める
14. 男性と女性が一緒に家事育児に参加していくという考え方を広める
15. 子どもの虐待を未然に防ぐ対策や虐待をすする保護者への対応を充実する
16. その他( )

問 37 男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など(職場)における環境整備としてどのようなものを望みますか。(3つまでに○)

1. 妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度(特差出勤制度など)
2. 産前産後の休暇が十分にとれる制度
3. 子どもが満1歳になるまでの育児休業期間にある程度の給料保障がされる制度
4. 男女とも育児休業期間が1年を超えてとれる制度
5. 出産・育児などのため会社を辞めた女性を再雇用する制度(再雇用制度)
6. 育児のために必要な場合に、就業時間を縮めることができる制度(短時間勤務制度)
7. 就業時間がある程度自由に融通できる制度(フレックスタイム制度)
8. 自宅で仕事をすることができる制度(在宅勤務制度)
9. 子どもが病気やケガのときなどに休暇がとれる制度
10. 子どもの行事(運動会やお遊戯会など)に参加するための休暇制度
11. 企業(職場)内に託児所を設けること
12. 男女ともに子育てと仕事が両立しやすいように、企業(職場)内で子育てへの理解を広めていく
13. 保育料に対する企業(職場)からの助成
14. その他( )
15. 特に希望することはない

問 38 あなたの世帯全体の収入に該当するものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. あなたの勤労収入     | 2. 子どもの勤労収入        |
| 3. その他の世帯員の勤労収入 | 4. 子どもの父または母からの養育費 |
| 5. 親・親族からの援助    | 6. 遺族基礎年金・厚生年金     |
| 7. 生活保護費        | 8. 児童扶養手当          |
| 9. 児童手当         | 10. 母子福祉資金借入金      |
| 11. 子どもに対する奨学金  | 12. その他( )         |

問 39 あなたの年収と同居世帯全体の年収はいくらですか。

(1) あなたの年収(1つに○)

- |                 |                 |                   |
|-----------------|-----------------|-------------------|
| 1. 0円           | 2. 1円~50万円未満    | 3. 50~100万円未満     |
| 4. 100~200万円未満  | 5. 200~300万円未満  | 6. 300~400万円未満    |
| 7. 400~500万円未満  | 8. 500~600万円未満  | 9. 600~700万円未満    |
| 10. 700~800万円未満 | 11. 800~900万円未満 | 12. 900~1,000万円未満 |
| 13. 1,000万円以上   |                 |                   |

(2) 同居世帯全体の年収(あなたの年収を含みます)(1つに○)

- |                 |                 |                   |
|-----------------|-----------------|-------------------|
| 1. 0円           | 2. 1円~50万円未満    | 3. 50~100万円未満     |
| 4. 100~200万円未満  | 5. 200~300万円未満  | 6. 300~400万円未満    |
| 7. 400~500万円未満  | 8. 500~600万円未満  | 9. 600~700万円未満    |
| 10. 700~800万円未満 | 11. 800~900万円未満 | 12. 900~1,000万円未満 |
| 13. 1,000万円以上   |                 |                   |

問 40 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための施策や、社会の制度のあり方などについてご意見・ご要望がありましたら、自由に記入ください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、**10月31日(水)**までにお近くのポストに投入してください。

## 北区の子ども・子育て支援に関する調査にご協力ください (12歳～18歳の区民用)

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえ平成26年度に策定した、「北区子ども・子育て支援計画2015」の改定にともない、区民の皆様の一助を把握するために行うものです。

この調査をお願いする方は、区内にお住まいの12歳～18歳の方の中から、1,000人の方を無作為に選びました。

調査用紙には、あなたの名前を書く必要はありません。あなたの答えは、誰にも分からないようになっていますので、自分の考えていることを正直に答えてください。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成30年10月

東京都北区 東京都北区教育委員会

### 【記入にあたってのお願い】

- この調査票では、調査対象者を「あなた」と表記しています。友達と相談したりせず、あなたの考えで答えてください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、( ) 内に内容を具体的に記入してください。
- 特にことわりのないかぎり、すべての質問にお答えください。一部の人が答える質問もあります。その場合は、質問の説明にしたがってお答えください。
- 調査用紙には、あなたの名前を書く必要はありません。皆さんの回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には絶対には使用しません。
- アンケートに関して分からない点がありましたら、下記までお問い合わせください。

北区教育委員会事務局 子ども未来部子育て施策担当課  
電話：03-3908-8143  
FAX：03-3908-1341

調査票の記入が終了したら、同封の返送用封筒にて10月31日(水)までに  
ご投函ください。

## 用語説明

ティーンズセンター

ティーンズセンターは、児童館の中で、特に中高生の居場所を提供している施設です。中高生専用ルームを設置したり、曜日を決めて中高生の活動時間に合わせて開館時間を延長したりしています。

あなたご家族の状況についてうかがいます。

問1 あなたは現在どちらにお住まいですか。記入例のように、丁目までお答えください。  
(記入例：赤羽1丁目、豊島2丁目、田端3丁目、岩淵町など)

丁目

問2 性別を教えてください。(1つに○)

1. 男 2. 女

問3 年齢を教えてください(平成30年4月1日現在)。(1つに○)

1. 12歳(中学1年生) 2. 13歳(中学2年生) 3. 14歳(中学3年生)  
4. 15歳 5. 16歳 6. 17歳  
7. 18歳

問4 あなたには兄弟姉妹がいますか。また、兄弟姉妹がいる場合、あなたは上から何番目ですか。(1つに○)

1. 兄弟姉妹はいない(一人っ子) 2. 兄弟姉妹がいる→( )番目

問5 あなたは、誰といっしょに住んでいますか(あてはまるものすべてに○)。

(注：お父さんが単身赴任のような場合も、「いっしょに住んでいる」とみなして○印をつけてください)

1. 父 2. 母 3. 兄弟姉妹  
4. 祖父 5. 祖母 6. その他( )

問6 あなたを含めて何人で住んでいますか。□□内に数字でご記入ください。

人

問7 あなたのご両親は、仕事をしていますか。(それぞれ1つに○)

父親：1. している 2. していない 3. 父親はいない  
母親：1. している 2. していない 3. 母親はいない

北区についてうかがいます。

問8 あなたは、北区が好きですか。(1つに○)

1. とても好き 2. どちらかという人喜欢  
3. どちらかという嫌い 4. 嫌い

問8-1は、問8で「1. とても好き」または「2. どちらかという好き」と回答した方にかがいます。

問8-1 北区が好きな理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 小さいときから住んでいる  
2. コンビニなどのお店が近くにあって便利  
3. 公園などで遊ぶところがたくさんある  
4. ゲームセンター・カラオケボックスなどが近くにある  
5. 子どもセンター(児童館)・図書館など子どもが使える施設が多い  
6. 地域の行事やお祭りなどが楽しい  
7. 塾や習い事がある  
8. 交通が便利  
9. 繁華街(いろいろなお店があつてにぎやかなところ)が近くにある  
10. 友達がいる  
11. 子どもが大事にされている  
12. その他( )

問8-2は、問8で「3. どちらかという嫌い」または「4. 嫌い」と回答した方にかがいます。

問8-2 北区が嫌いな理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 人や車が多すぎる  
2. ごみごみしている  
3. 公園など外で遊ぶところが少ない  
4. 家の周りの環境が悪い  
5. 中高生が使える施設が少ない  
6. 地域の行事やお祭りが少ない  
7. 繁華街(いろいろなお店があつてにぎやかなところ)が近くにない  
8. 子どもにとって良くない情報が多い  
9. 子どもが大事にされていない  
10. 友達が少ない  
11. その他( )

問9 あなたは、これからも北区に住みたいですか。(1つに○)

1. 住みたい 2. 住みたくない 3. わからない



**学校生活等についてうかがいます。**

問10 あなたの現在の状況について、教えてください。(1つに○)

1. 公立中学生
2. 私立中学生
3. 公立高校生(全日制 定時制 通信制)
4. 私立高校生
5. 中学卒業後 就職(アルバイト含む)
6. 高校中退後 就職(アルバイト含む)
7. 専修学校・職業訓練校などに進学
8. 特に関心していない
9. その他( )

問10-1、問10-2は、問10で「1」から「7」のいずれかに回答した方向にうかがいます。  
それ以外の方は、問11へお進みください。

問10-1 あなたの通学または通勤先を教えてください。(1つに○)

1. 北区内
2. 板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区
3. 千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区
4. その他(1~3)以外の都内市区町村
5. 埼玉県
6. 千葉県
7. 神奈川県
8. その他( )

問10-2 あなたの通学または通勤時間を教えてください。(1つに○)

1. 10分未満
2. 10分以上15分未満
3. 15分以上30分未満
4. 30分以上1時間未満
5. 1時間以上1時間30分未満
6. 1時間30分以上2時間未満
7. 2時間以上

問11は、学校に通っている方がお答えください。学校に通っていない方は問12へ進んでください。

問11 あなたは、学校に行きたくないときがありますか。(1つに○)

1. よくある
2. ときどきある
3. ない ---▶ 【問12へ】

問11-1、問11-2は、問11で「1. よくある」または「2. ときどきある」と回答した方向にうかがいます。それ以外の方は、問12へお進みください。

問11-1 あなたは、どんなときに学校に行きたくないですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 授業がわからない
2. 苦手な教科の授業がある
3. テストがある
4. 宿題や課題などをしなかった
5. 学校の規則が厳しい
6. 友達とうまくいかなかった
7. 先生とうまくいかない
8. 家でしかられた
9. いじめを受けた
10. 暴力を受けた
11. 虐待を受けた
12. 身体の具合が悪い
13. 嫌なことをした
14. 学校以外のところに行きたくなくなった
15. なんとなく
16. その他( )

問11-2 あなたは、学校に行きたくないときどうしましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 父親に相談した
2. 母親に相談した
3. 祖父・祖母に相談した
4. 兄弟姉妹に相談した
5. 友達・先輩に相談した
6. 学校の先生に相談した
7. スクールカウンセラーに相談した
8. 相談しなかった・相談したくなかった
9. 我慢して学校に行った
10. 学校を休んだ
11. その他( )

**放課後や休日の過ごし方についてうかがいます。**

問12は、15歳以上の学生の方にかがいます。それ以外の方は、問13へ進んでください。

問12 あなたは、アルバイトをしていますか。(1つに○)

1. アルバイトをしている
2. アルバイトをしていない ---▶ 【問13へ】

問12-1 あなたが、アルバイトをしている場所はどこですか。(1つに○)

1. 北区内
2. 板橋区、豊島区、文京区、足立区、荒川区
3. 千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区
4. その他(1~3)以外の都内市区町村
5. 埼玉県
6. 千葉県
7. 神奈川県
8. その他( )

問13 あなたは、放課後(学校にいない人は夕方)どこにいますか。(5つまでに○)

1. 自分の家
2. 祖父・祖母の家
3. 親せきの家
4. 友達の家
5. 近所の公園
6. 広場や空き地
7. 学校
8. 部活動
9. スポーツをするところ
10. 図書館
11. ティーンズセンター(児童館)
12. 塾や習い事
13. アルバイト・仕事先
14. ショッピングモール
15. コンビニ
16. ゲームセンター
17. ファミレスやファーストフード
18. その他( )

問14 あなたは、放課後はどこで過ごしたいですか。(5つまでに○)

1. 自分の家
2. 祖父・祖母の家
3. 親せきの家
4. 友達の家
5. 近所の公園
6. 広場や空き地
7. 学校
8. 部活動
9. スポーツをするところ
10. 図書館
11. ティーンズセンター(児童館)
12. 塾や習い事
13. アルバイト・仕事先
14. ショッピングモール
15. コンビニ
16. ゲームセンター
17. ファミレスやファーストフード
18. その他( )

問 15 あなたは、いっしょに遊んだり話したりする友達が何人くらいいますか。(1つに○)

1. 1人                      2. 2～3人                      3. 4～9人  
4. 10人以上                      5. いない

問 16 あなたは、放課後や休・祝日に友達と過ごす場所としてどのような場所がほしいですか。(3つまで○)

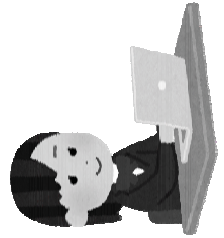
1. 勉強ができる場所                      2. 本が読める場所  
3. 運動ができる場所                      4. のんびりできる場所  
5. 音楽の練習ができる場所                      6. テレビが見られる場所  
7. ゲームができる場所                      8. インターネットができる場所  
9. 自分と同じくらいの年齢の人と会話・交流できる場所                      10. 自分と違う年齢の人と会話・交流できる場所  
11. その他 ( )

問 17 あなたが、ホッとできて、安心する場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅の自分の部屋                      2. 家族が集まる部屋  
3. 自宅のトイレ                      4. 祖父・祖母の家  
5. 友達の家                      6. 学校の教室  
7. 学校の保健室                      8. 学校の部屋  
9. 学校の図書室                      10. 公立の図書館  
11. 塾・習い事先                      12. 職場・バイト先  
13. 子どもセンター (児童館)                      14. ファミレスやファーストフード  
15. ショッピングモール                      16. コンビニ  
17. ゲームセンター                      18. 公園  
19. 落ち着く (安心できる) 場所がない                      20. その他 ( )

問 18 あなたは、学校以外でインターネット (パソコン、スマートフォン等) を 1 日に何時間くらい使用していますか。(1つに○)

1. 3時間以上                      2. 2時間くらい                      3. 1時間くらい  
4. 30分くらい                      5. ほとんど使用しない                      6. 全く使用しない                      【問 19 へ】



問 18-1 から問 18-3 は、問 18 で「1」から「4」のどれかに回答した方にうかがいます。

問 18-1 インターネット (パソコン、スマートフォン等) を使用する理由をお答えください。(1つに○)

1. すぐに情報を手でできるから                      2. お気に入りのサイトを見たいから  
3. SNS を利用したいから                      4. 周りの人が使っているから  
5. 他にやることがないから                      6. ゲームをやりたいから  
7. その他 ( )

問 18-2 インターネットを使用して、何かトラブルになったことがありますか。(1つに○)

1. ある                      2. ない

問 18-3 インターネット (パソコン、スマートフォン等) を使用するにあたり、親と何か取り決めをしていますか。(1つに○)

1. ある                      2. ない                      【問 18-4 へ】                      【問 19 へ】

問 18-4 は、問 18-3 で「1. ある」と回答した方にうかがいます。それ以外の方は、問 19 へお進みください。

問 18-4 あなたは、取り決めを守っていますか。(1つに○)

1. 守っている                      2. 時々守らないことがある                      3. 守っていない

**他み事や相談先についてうかがいます。**

問 19 あなたが悩んでいることは、どんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 健康                      2. 顔や体型  
3. 性格やクセ                      4. 運動  
5. 勉強                      6. 将来や進路  
7. アルバイトや仕事                      8. おこづかい  
9. ほしいものを買ってもらえない                      10. いじめ  
11. 友達                      12. 恋愛  
13. 兄弟姉妹                      14. 親  
15. 学校の先生                      16. インターネット (SNS 等) 上でのトラブル  
17. 虐待                      18. その他 ( )  
19. 特にない

問 20 あなたが今まで「一番つらい」と思ったのはどんなときですか。(1つに○)

1. 友達から仲間はずれにされた                      2. 学校などでいじめにあった  
3. 親や先生から納得のいかない理由で怒られた                      4. 自分のやりたいことを、やっばいいけないと言われた  
5. 秘密にしていたことを、ばらされてしまった                      6. 疲れているのに、のんびりさせてもらえなかった  
7. 大人から、体罰を受けた                      8. 失恋をした  
9. 学校の成績が下がった                      10. 自分の居場所がなかった  
11. 自分の意見を聞いてもらえなかった                      12. 家族から虐待を受けた  
13. 学校で必要な物を揃えられなかった                      14. その他 ( )  
15. 特にない

問 21 あなたは、何か相談したいことや聞いてほしいことがあったとき、気軽に話せる相手がいいますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                |                         |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 父親                          | 2. 母親                   |
| 3. 祖父母                         | 4. 兄弟姉妹                 |
| 5. 親せきの人                       | 6. 学校の友達・先輩             |
| 7. 学校以外の友達・先輩                  | 8. 恋人                   |
| 9. 団体、グループの仲間                  | 10. 担任の先生               |
| 11. 保健室の先生                     | 12. その他の学校の先生           |
| 13. スクールカウンセラー                 | 14. ティーンズセンター (児童館) の先生 |
| 15. 塾・習い事の先生                   | 16. 地域の知り合いの人           |
| 17. 教育総合相談センターの人               | 18. 児童相談所の人             |
| 19. 子ども家庭支援センター (育ち愛ほっと館など) の人 | 20. インターネットの相談サイト       |
| 21. SNS での友達                   | 22. その他 ( )             |
| 23. 誰もいない                      |                         |

問 22 あなたが知っている相談機関をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |  |
|--|
| 1. 子ども家庭支援センター (育ち愛ほっと館)                 |
| 2. 児童相談所                                 |
| 3. 学校から配布されている相談窓口 (4152 (よいこに) 電話相談室など) |
| 4. 教育総合相談センター                            |
| 5. 子どもセンター (児童館)                         |
| 6. その他 ( )                               |
| 7. どこも知らない                               |

**北区の施設の利用についてうかがいます。**

問 23 あなたは、中学生になってから今まで、次の施設を普段から利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1. 図書館      | 2. 子どもセンター (児童館) |
| 3. 体育館      | 4. 運動場           |
| 5. 野球場      | 6. サッカー場         |
| 7. テニスコート   | 8. 区民プール         |
| 9. 北とびあ     | 10. 公園           |
| 11. その他 ( ) | 12. 利用したことがない    |

問 24 北区では、中学生・高校生世代のみなさんが自由な雰囲気の中で気軽に集い、仲間づくりや活動、イベントの企画・運営を行える場所として「ティーンズセンター」の設置を進めています。

あなたは、ティーンズセンターを知っていますか。(1つに○)

※表紙裏に用語の説明があります。

- |          |             |           |
|----------|-------------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 聞いたことはある | 3. 知らなかった |
|----------|-------------|-----------|

問 25 ティーンズセンターでできるとよと思うことをお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 読書ができる       | 2. 自習や勉強ができる             |
| 3. 音楽・映像鑑賞ができる  | 4. パソコンやインターネットが使える      |
| 5. 演奏の練習や発表ができる | 6. 運動ができる                |
| 7. 自由におしゃべりできる  | 8. 話し合いや会議ができる           |
| 9. ものづくりができる    | 10. ティーンズセンターのイベントの企画・運営 |
| 11. その他 ( )     |                          |

問 26 ティーンズセンターを使いたい場合に、開いてほしい時間をご記入ください。

(午前・午後どちらかに○をつけ、( ) 内には数字をご記入ください)

- |           |                                       |
|-----------|---------------------------------------|
| (1) 平日    | 1. 使いたい → 午前・午後 ( ) 時から 午前・午後 ( ) 時まで |
|           | 2. 使いたくない                             |
| (2) 土日・祝日 | 1. 使いたい → 午前・午後 ( ) 時から 午前・午後 ( ) 時まで |
|           | 2. 使いたくない                             |

**将来の仕事や結婚、子育てについておたずねします。**

問 27 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。  
(ア〜ケのそれぞれについて1つに○)

	そう思う	どちらかといえど そう思う	どちらかといえど そう思わない	そう思わない	よくわからない
(記入例) ア、いつかは結婚したい	1	2	3	4	5
ア、いつかは結婚したい	1	2	3	4	5
イ、結婚は個人の自由であり、してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
ウ、結婚後、うまくいかなければ離婚することはしかない	1	2	3	4	5
エ、結婚後も、別々の名字でかまわない	1	2	3	4	5
オ、いつかは子どもがほしい	1	2	3	4	5
カ、結婚後も、子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
キ、結婚はしたくないが、子どもはほしい	1	2	3	4	5
ク、子どもの世話は、父親も母親も同じにするのがよい	1	2	3	4	5
ケ、女性は子どもを産んでも仕事を続けた方がよい	1	2	3	4	5

問 28 将来の仕事についてのあなたの考え方にもっとも近いものはどれですか。(1つに○)

1. 給料に関係なく自分の好きな仕事につきたい	
2. 会社がつぶれたりクビになったりしない安定した仕事につきたい	
3. あまり忙しくなく家族を大事にできる仕事につきたい	
4. 忙しくても給料が高い仕事につきたい	
5. 社会に貢献する仕事につきたい	
6. 教育や保育に関する仕事につきたい	
7. アルバイトやフリーターをしていきたい	
8. 自分の会社を作りたい	
9. 海外で仕事をしたい	
10. できれば仕事はしたくない	
11. その他 ( )	
12. わからない	

問 29 あなたは、将来どんな家庭をつくりたいですか。(1つに○)

1. 男の人も女の人も働いて、いっしょに家のことや子育てをする家庭	
2. 子どもが小さいときだけ女性が家について、子どもが大きくなったら男性も女性も働いて、いっしょに家のことや子育てをする家庭	
3. 男性が働いて、女性が家のことや子育てをする家庭	
4. 女性が働いて、男性が家のことや子育てをする家庭	
5. 家庭をつくりたくない	
6. わからない	
7. その他 ( )	

問 30 あなたは、弟や妹以外の赤ちゃん・幼児と遊んだことがありますか。(1つに○)

1. たくさんある	2. ときどきある
3. あまりない	4. 全くない

問 31 最後に、「北区の子どもの対象とした取り組み」や「これからも北区で暮らしていく条件」について意見・要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

記入もらえないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、**10月31日(水)**までにお近くのポストに投函してください。

## 用 語 説 明

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
保育所（園）	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
認定こども園	幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
ざくらんぼ園発達相談室	就学前の子どもの発達に関する相談（歩き始めが遅い、言葉が遅い、落ち着きがない、友達とうまく遊べないなど）を受けている施設です。通園部門として、子ども発達支援センターさくらんぼ園があります。
わくわく☆ひろば （放課後子ども総合プラン）	小学校の教室や校庭、体育館などを使い、放課後や土曜日、夏休みなどの長期休業中に開催します。専任の指導員や地域の大人たちに見守られ、子どもたちが安心して伸び伸びと過ごせる活動場所や生活の場を提供するものです。学年を越えた交流を図りながら、宿題や復習などの学習活動、体験学習、校庭遊びやスポーツなどが体験できます。登録には『放課後子ども教室（一般登録）』と『学童クラブ（学童クラブ登録）』があります。
子どもセンター	＜放課後子ども教室（一般登録）とは＞ 小学校1～6年生のすべての児童が対象です。教室や校庭等を活動場所に、子どもたちの遊び場・学ぶ場を提供します。（自由参加・自由帰宅）利用にあたっては登録が必要です。 ＜学童クラブ（学童クラブ登録）とは＞ 保護者が就労等により育成が必要な家庭の児童が対象です。対象は小学校1～3年生の児童です。※4年生以上は学童クラブ特例として一般登録を利用します。保護者の申請に基づき、区が利用者を決定します。
ティーンズセンター	子どもセンターは、乳幼児親子が安心して1日過ごせる居場所です。年間を通じた乳幼児クラブ活動や子育てに関する相談事業など、乳幼児親子への支援を行っています。ティーンズセンターは、中高生世代の居場所を提供している施設です。
はびママ（たまご・ひよこ）面接	妊娠届出をされた方、出産後6か月までの方に妊娠・出産・子育ての情報提供のため、保健師・助産師・児童館職員等が面接を行います。
はびママ学級（母親学級）	妊娠・出産・赤ちゃんの世話を学ぶとともに、子育ての仲間づくりをすることを目的に実施しています。
パパになるための半日コース	パパナーが妊娠中の方を対象に、妊娠・出産・赤ちゃんの世話を学ぶとともに、子育ての仲間づくりをすることを目的に実施しています。
幼稚園の子育て支援	地域教育事業・未就園児対象の事業・園庭開放等
保育園の子育て支援	ふれあい給食・育児相談・プール遊び・園庭開放・行事参加など
乳幼児クラブ	親子で楽しみながら、体操、工作、リズム遊びなどを行います。
地域育て合い事業	児童館（子どもセンター）と保育園が連携して、地域での子育て支援を行います。
北区子育てにっこりバスポート	中学生以下のお子さんがいる世帯に配布しているにっこりバスポート（カード）を区内協賛店に提示すると割引や特典が受けられる事業です。

## 北区の子ども・子育て支援に関するニーズ調査にご協力ください （25歳～44歳の区民用）

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえ平成26年度に策定した、「北区子ども・子育て支援計画 2015」の改定にともない、区民の皆様がニーズを把握するために行うものです。

**調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、現在の率直なお考え・希望等をお答えください。**

この調査をお願いする方は、区内在住の25歳から44歳の方の中から、1,000人の方を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

平成30年10月  
東京都北区 東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、調査対象の方を「あなた」と表記しています。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、( ) 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24時間制（例：「午後4時」は「16時」）でご記入ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- アンケートに関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

北区教育委員会事務局 子ども未来部子育て施策担当課  
電話：03-3908-8143  
FAX：03-3908-1341

ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒にて 10月31日(水)までにご返函ください。



**あなたやご家族、お住まいなどについておたずねします**

問1 あなたは現在どちらにお住まいですか。記入例のように、丁目までお答えください。  
(記入例：赤羽1丁目、豊島2丁目、田端3丁目、岩淵町など)

丁目

問2 あなたの性別・年齢は、次のうちどれにあたりますか。

(1) 性別 (1つに○)

1. 男性  
2. 女性

(2) 年齢 (1つに○)

1. 25歳～29歳  
2. 30歳～34歳  
3. 35歳～39歳  
4. 40歳～44歳

問3 あなたの世帯構成は、次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

1. ひとり暮らし  
2. 自分たち夫婦のみ  
3. 自分たち夫婦と子ども(2世代)  
4. 自分たち夫婦と子どもと親(3世代)  
5. 母子家庭(親と同居含む)  
6. 父子家庭(親と同居含む)  
7. その他( )

問4 あなたは今、結婚していますか。(1つに○)

1. している(事実婚を含む) → 【問4-1へ】  
2. していない(未婚) → 【問5へ】  
3. していない(離婚・死別など) →

問4-1、問4-2は、問4で「1. している」と回答した方にかかいます。

問4-1 あなたが結婚された年齢をお答えください。(数字でお答えください)

歳

問4-2 あなたの世帯は、共働き(パート・アルバイトなども含む)の世帯ですか。(1つに○)

1. 共働き世帯  
2. 共働きをしていない世帯  
3. 夫婦とも無職の世帯  
4. その他( )

問5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(1つに○)

1. いる  
2. いない → 【問6へ】

問5-1は、問5で「1. いる」と回答した方にかかっています。

問5-1 お子さんの人数と年齢をご記入ください。

( ) 人 お子さんの年齢 ( ) 歳 ( ) 歳 ( ) 歳 ( ) 歳 ( ) 歳

問6 あなたが同居しているご家族(あなたご自身も含みます)には、現在、介護を必要としている方がいますか。または過去にいましたか。(1つに○)

1. 現在いる  
2. 過去にいた  
3. いない  
4. その他( )

問7 現在のお住まいは、あなたご自身の親や、配偶者の親の家との程度離れていますか。(あてはまるものすべてに○)

(1) 自分の親

1. 同居している  
2. 同じ敷地内の別棟に住んでいる  
3. 片道1時間以内で行けるところに住んでいる  
4. 片道1時間以上かかるところに住んでいる  
5. すでに亡くなっている

(2) 配偶者の親

1. 同居している  
2. 同じ敷地内の別棟に住んでいる  
3. 片道1時間以内で行けるところに住んでいる  
4. 片道1時間以上かかるところに住んでいる  
5. すでに亡くなっている  
6. 配偶者がいない

問8 あなたご自身は、北区にどのくらい住んでいますか。(1つに○)

1. 1年未満  
2. 1年以上3年未満  
3. 3年以上5年未満  
4. 5年以上10年未満  
5. 10年以上15年未満  
6. 15年以上20年未満  
7. 20年以上

問9 北区にお住まいの理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 生まれたときから北区に居住し続けている  
2. 職場に行きやすい(通勤に便利)  
3. 親・親せきが近くにいる(同居を含む)  
4. 住宅価格や家賃が手頃である  
5. 医療や福祉が充実している  
6. 保育・子育て支援が充実している  
7. 教育環境がよい  
8. 自然環境がよい  
9. まちのイメージがよい  
10. その他( )

**ライフスタイル、働き方などについておたずねします**

問10 次の項目について、あなたは日頃、1日におよそ何時間くらいを費やしていますか。それぞれ平日と休日についてお答えください。なお、当てはまらない場合は「0(ゼロ)」とご記入ください。(数字でお答えください)

	平日	休日
仕事(残業を含む)	時間 分	時間 分
通勤時間(往復)	時間 分	時間 分
家事・育児	時間 分	時間 分
趣味(自分の時間)	時間 分	時間 分
睡眠	時間 分	時間 分

問11 あなたは、これまで、これまで、自分の親と別居して、生活をしたことがありますか。ただし、ご結婚されている方は、結婚前の状況についてお答えください。なお、旅行や入院のための一時的な別居は除きます。(1つに○)

1. ある  
2. ない

問 12 現在のあなたのお仕事は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

- |                                |                   |
|--------------------------------|-------------------|
| 1. 常勤（フルタイム）                   | } 【問 12-1 へ】      |
| 2. パート・アルバイト                   |                   |
| 3. 自営業（手伝い含む）                  |                   |
| 4. 内職・在宅就労                     | } 【問 12-4 へ】      |
| 5. 学生                          |                   |
| 6. 専業主婦・専業主夫                   |                   |
| 7. 無職                          |                   |
| 8. その他（ <input type="text"/> ） | ） -----▶ 【問 13 へ】 |

問 12-1 から問 12-3 は、問 12 で「1」から「4」と回答した方にかがいます。

問 12-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。  
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休、  
育休、介護休業中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。  
( 内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)

1週当たり  日  1日当たり  時間

問 12-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いバ  
ーンについてお答えください。産休中の方は、休業に入る前の状況についてお答えくださ  
い。時間は、必ず、(例) 08 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。  
( 内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

家を出る時間  時  時 帰宅時間  時  時

問 12-3 通勤手段として電車を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している  2. 利用していない

問 12-4 は、問 12 で「5」「6」「7」と回答した方にかがいます。

- 問 12-4 あなたは今後、仕事に就きたいと考えていますか。(1つに○)
1. 現在就職活動中である  2. 近いうちに仕事に就きたいが、探していない
3. 今のところ仕事に就くつもりはない  4. その他（）

問 13 あなたは今までに、離職の経験がありますか。(1つに○)

1. 離職の経験がある -----▶ 【問 13-1 へ】 2. 離職の経験がない -----▶ 【問 14 へ】

問 13-1、問 13-2 は、問 13 で「1. 離職の経験がある」と回答した方にかがいます。

問 13-1 離職した一番の理由はどのようなことですか（あてはまるものすべてに○）

1. 勤務時間や休日、給与など勤務条件を変えたかった
2. 仕事の内容を変えたかった（転職を含む）
3. 職場の人間関係が自分に合わなかった
4. 結婚や出産などで働き方を変える必要があった
5. 家族の介護で働き方を変える必要があった
6. その他（）

問 13-2 離職後、新しい仕事に就きましたか。(1つに○)

1. 離職前と同じような勤務条件の仕事に就いた
2. 離職前と違う勤務条件の仕事に就いた
3. 離職後、仕事に就いていない
4. その他（）

問 14 あなたが一度離職し、再就職するとしたら、どのような支援をして欲しいと思いますか。  
(3つまでに○)

1. 求人情報を入しやすくすること
2. 再就職のためのセミナー・講習会を実施すること
3. 企業の紹介やインターンシップへの参加
4. 技術や技能の習得の機会を多くすること
5. パート労働条件を向上させること
6. 就職に関する相談体制を充実させること
7. 出産、育児、介護、介護のために離職した場合、同一企業に採用されるようにすること
8. 子育て施策や、保育所等の施設整備が充実すること
9. 在宅の介護サービスが充実すること
10. その他（）
11. 特にない

**あなたの職場の状況についてうかがいます**

問 15 から問 17-1 は、問 12 で「1. 常勤（フルタイム）」と回答した方にかがいます。  
それ以外の方は、問 18 へ進んでください

問 15 お仕事をされている方にかがいます。あなたの職場には、勤務時間の短縮や、フレックス勤  
務の制度がありますか。(1つに○)

1. はい  2. いいえ  3. わからない

問 16 あなたの職場は、育児休業制度が取得しやすい環境だと思いますか。(1つに○)

1. 取得しやすいと思う  2. どちらかと言えば取得しやすいと思う
3. どちらかと言えば取得しにくいと思う  4. 取得しにくいと思う
5. わからない



問 24 子育てで不安に思っていることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事をしながら子育てをすることが難しい
2. きちんとした子どもに育てられるか自信がない
3. 仕事にさしさわりがある
4. 配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない
5. 親の協力が期待できない
6. 保育サービスを利用できない
7. 経済的にやっつけていけないか不安
8. 自分や夫婦だけの時間が取れない
9. 子どもと一緒に過ごす時間を十分に取れない
10. 子育てをすすめる体力がない
11. その他 ( )
12. わからない
13. 特にない

問 25 は、問 22 で「3」「4」と回答した方がいます。それ以外の方は、問 26 へお進みください。

問 25 (これ以上) 子どもが欲しくなくと思うのはなぜでしょうか。(あてはまるものすべてに○)

1. 現時点でもともと欲しいと思っていた理想の人数の子どもがいる
2. ひとりひとりに十分に時間をかけて育てたい
3. 仕事にさしさわりが出そう・仕事を続けていくのが難しそう
4. 配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない
5. 親の協力が期待できない
6. 保育サービスを利用できない
7. 経済的に難しい
8. 住居が狭い
9. 自分や夫婦だけの時間が取れない
10. 子どもと一緒に過ごす時間を十分に取れない
11. 子育てをすすめる体力がない
12. その他 ( )
13. 特にない

問 26 あなたは、結婚生活において、夫婦の間で家計をどのように担当するのが良いと思いますか。(1つに○)

1. 夫が家計の担い手となる
2. どちらかというど夫が家計の主な担い手となる
3. どちらも同じくらい
4. どちらかというど妻が家計の主な担い手となる
5. 妻が家計の担い手となる
6. その時に収入が多い方が担い手になる
7. わからない

出産・子育てに関して北区に期待することについてうかがいます

※問 27 以降は、すべての方にうかがいます。お子さんのいない方は、イメージでお答えください。

問 27 北区は、総合的にみて、子育てしやすいところだと思いますか。(1つに○)

1. 子育てしやすい
2. ぶつう
3. 子育てしにくい
4. わからない

問 28 北区に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1. 今後とも住み続けたい
2. 当面は住むつもり
3. できれば転居したい
4. 転居の予定がある
5. 先のことはわからない
6. その他 ( )

問 29 あなたは、次のような子育て施設を利用したこと、または利用したいと思ったことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 保育園や幼稚園の園庭開放
2. 児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)
3. 子育ての相談窓口
4. わくわく☆ひろば(放課後子ども総合プラン) < 学童クラブ(学童クラブ登録) >
5. わくわく☆ひろば(放課後子ども総合プラン) < 放課後子ども教室(一般登録) >
6. 病児・病後児保育
7. 子ども家庭支援センター(育ち愛ほっと館)
8. 利用したことがない(利用したいと思っただことがない場合も含む)

問 30 子育てに関する情報は、どこから入手しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親族(親・兄弟姉妹など)
2. 近所の人、知人、友人
3. 子育てサークルの仲間
4. 区役所の窓口
5. 保育園、幼稚園、認定こども園、学校
6. 子ども家庭支援センター(育ち愛ほっと館)
7. 健康推進課各健康支援センター
8. 教育総合相談センター
9. 児童館(子どもセンター・ティーンズセンター)
10. 北区ニュース(広報誌)
11. テレビ、ラジオ、新聞
12. 市販の子育て情報誌、育児書
13. インターネット
14. 北区子育て応援ガイド「きたハビモバイル」
15. 子育て支援メール
16. その他 ( )
17. 情報の入手手段がわからない
18. 情報を入手する必要がない

問 31 あなたは、次のような子育て支援事業を利用したことがありますか。  
 (①～⑩ごとにそれぞれ1つに○) ※表紙裏に用語の説明があります。

利用しているかどうか	利用しているが、利用したことはない	知らない	
【記入例】 ①はひまママ学級、はひママ(たまご・ひよこ)面接、ハバになるための半日コース	1	2	3
①はひまママ学級、はひママ(たまご・ひよこ)面接、ハバになるための半日コース	1	2	3
②産前産後セルフケア講座、産後ケア事業、産後ジョイントステイ事業	1	2	3
③安心ママヘルパー (産前産後のお母さんが、育児の不安や負担を少しでも軽減できるように、家事や育児の補助として民間事業者のヘルパーを派遣します。)	1	2	3
④赤ちゃん訪問・育児相談 (母子の保健バックログの中の「出生通知票」を区に送ると、ご自宅に保健師または助産師が訪問し、育児に関する相談やお母さんの産後の相談が受けられます。)	1	2	3
⑤健康推進課各健康支援センターの情報・相談サービス	1	2	3
⑥子ども家庭支援センター(育ち愛ほっと館)の子育て支援 (子どもと家庭の総合相談、遊びのひろば、虐待相談・通告)	1	2	3
⑦教育総合相談センターの教育相談	1	2	3
⑧幼稚園の子育て支援 (地域教育事業・本区園児対象の事業・園庭開放等)	1	2	3
⑨保育園の子育て支援 (5れあひ給食・育児相談・プール遊び・園庭開放・行事参加など)	1	2	3
⑩児童館(子どもセンター)の子育て支援(乳幼児クラブ等)	1	2	3
⑪地域育で合い事業 (児童館(子どもセンター)と保育園が連携して、地域での子育て支援を行います。)	1	2	3
⑫北区子育てガイドブック・北区子育てマップ・子どもたちの育つ姿・きたく のようちえん (区が発行している子育て情報冊子)	1	2	3
⑬赤ちゃん依けい室 (赤ちゃんのおむつ替えや授乳などができる簡易スペースを庁舎・区民施設・児童館を中心に設置しています。)	1	2	3
⑭さくらんぼ園発達相談室	1	2	3
⑮北区子育てっこりバスポート (中学生以下のお子さんがかかる世帯に配布しているこっこりバスポート(カード)を区内協賛店に提示すると割引や特典が受けられる事業です。)	1	2	3
⑯子育て応援ガイド「きたハビモバイル」～予防接種スケジュールナビ～ (予防接種スケジュールの自動調整機能や、知りたい情報を目的別・年齢別に検索できるなど、子育てに役立つ機能が充実しているモバイルサイトおよびアプリです。)	1	2	3
⑰みんなでお祝い贈きハースター (歳1歳を迎えるお子さんと保護者を児童館および子どもセンターに招待し、みんなで1歳のお誕生日をお祝いする事業です。)	1	2	3

問 32 北区に対して、今後どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

1. 児童館(子どもセンター)など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
3. 子育てで困ったときに相談したり情報が得られる場所を作って欲しい
4. “子育ては楽しい”を積極的に広報・啓発して欲しい
5. 平日の保育施設(保育所など)を増やして欲しい
6. 子どもたちの居場所、活動拠点の整備をして欲しい
7. 地域で同世代・異世代が交流する機会を拡充して欲しい
8. 仕事を休んでいなくても誰でも気軽に利用できる保育サービスが欲しい
9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい
10. 多世代の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住居面の配慮が欲しい
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい (仕事と生活の調和の実現)
12. 子ども・子育てにかかわる地域活動へ、父親など男性の参加を促進して欲しい
13. ボランティア活動への市民参画を推進して欲しい
14. ファミリー・サポート・センター事業(地域住民が子どもの送り迎えなどをサポートする事業)の活動を充実して欲しい
15. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
16. その他( )
17. わからぬ

問 33 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための施策や、社会の制度のあり方などについてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、10月31日(水)までにお近くのポストに投函してください。



## 用 語 説 明

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
保育所(園)	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
認定こども園	幼稚園と保育所(園)の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
さくらんぼ園発達相談室	就学前の子どもの発達に関する相談(歩き始めが遅い、言葉が遅い、落ち着きがない、友達とうまく遊ぶべないなど)を受けている施設です。通園部門として、子ども発達支援センターさくらんぼ園があります。
子どもセンター	子どもセンターは、乳幼児親子が安心して1日過ごせる居場所です。年間を通して乳幼児クラブ活動や子育てに関する相談事業など、乳幼児親子への支援を行っています。
ティーンズセンター	ティーンズセンターは、中高生世代の居場所を提供している施設です。
はびママ(たまご・ひよこ)面接	妊娠届出をされた方、出産後6か月までの方に妊娠・出産・子育ての情報提供のため、保健師・助産師・児童館職員等が面接を行います。

## 北区の子ども・子育て支援に関するニーズ調査にご協力ください (妊産婦用)

この調査は、子ども・子育て支援法の基本理念や子ども・子育て支援の意義に関する事項を踏まえ平成26年度に策定した、「北区子ども・子育て支援計画2015」の改定にともない、区民の皆様へのニーズを把握するために行うものです。

**調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、現在の率直なお考え・希望等をお答えください。**

この調査は、母子手帳交付にいられた方、はびママ学級・パパになるための半日コースに参加された方、ならびに3～4か月児健診にいられた乳児の保護者の方の500人にお願いをしております。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いたします。

平成30年10月

東京都北区 東京都北区教育委員会

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、調査対象の方を「あなた」と表記しています。
- 回答は、**あてはまる番号を○で囲んでください**。その他回答については、( ) 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24時間制(例：「午後4時」は「16時」)でご記入ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当する方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
- アンケートに関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

北区教育委員会事務局 子ども未来部子育て施策担当課  
電話：03-3908-8143  
FAX：03-3908-1341

ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒にて10月31日(水)までに  
ご投函ください。

**この調査の回答は、妊婦の方、もしくは産婦の方がお答えください。**

**世帯の状況についておたずねします**

問1 あなたは現在どちらにお住まいですか。記入例のように、丁目までお答えください。  
(記入例：赤羽1丁目、豊島2丁目、田端3丁目、岩淵町など)

丁目

問2 あなたの年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。(1つに○)

- 1. 19歳以下
- 2. 20歳～24歳
- 3. 25歳～29歳
- 4. 30歳～34歳
- 5. 35歳～39歳
- 6. 40歳～44歳
- 7. 45歳以上

問3 あなたの家族形態は、次のうちどれにあてはまりますか。妊婦の方はお子さんを含めてお答えください。(1つに○)

- 1. 自分たち夫婦と子ども(2世代)
- 2. 自分たち夫婦と子どもと親(3世代)
- 3. 母子家庭(親と同居含む)
- 4. その他( )

問4 あなたご自身は、北区にどのくらい住んでいますか。(1つに○)

- 1. 1年未満
- 2. 1年以上3年未満
- 3. 3年以上5年未満
- 4. 5年以上10年未満
- 5. 10年以上15年未満
- 6. 15年以上20年未満
- 7. 20年以上

問5 北区にお住まいの理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 生まれたときから北区に居住し続けている
- 2. 職場に行きやすい(通勤に便利)
- 3. 親・親せきが近くに居る(同居を含む)
- 4. 住宅価格や家賃が手頃である
- 5. 医療や福祉が充実している
- 6. 保育・子育て支援が充実している
- 7. 教育環境がよい
- 8. 自然環境がよい
- 9. まちのイメージがよい
- 10. その他( )

**出産・子育てに関することについておたずねします**

※ここからは、あなたのお子さんのことについてうかがいます。3～4か月健診に来られた方は、要診対象のお子さんについて、妊産屋を出された方は妊産屋のお子さんについてお答えください。

問6 あなたは現在、妊娠していますか。(1つに○)

- 1. 妊娠している
- 2. 出産した

問7 あなたには、現在お子さんは何人いますか。妊娠中の方は、出産予定のお子さんを含めてお答えください。(1つに○)

- 1. 1人
- 2. 2人
- 3. 3人
- 4. 4人以上

問8 あなたが理想とする子どもの数は何人ですか。(1つに○)

- 1. 1人
- 2. 2人
- 3. 3人
- 4. 4人以上
- 5. 特に理想はない

問9 妊娠中の方は、出産予定の医療機関についてお答えください。また、すでに出産された方については、出産した医療機関についてお答えください。(1つに○)

- 1. 北区内
- 2. 北区以外の東京都内(区・市町村名)
- 3. 東京都外(都道府県名)
- 4. その他( )

問9-1 出産予定の医療機関、または出産された医療機関を選んで理由を具体的に書きください。  
(例：「里帰り先だから」「希望する医療機関があったから」)

**問10は、問6で「1. 妊娠している」と回答した方にうかがいます。「2. 出産した」と回答した方は問11へお進みください。**

問10 妊娠や出産の困りごと、育児の不安感や負担感についておたずねします。

(1) あなたの妊娠や出産について困ったこと、もしくは困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 他の妊婦との交流の場が身近にないこと
- 2. 妊娠・出産について情報や知識が手しにくいこと
- 3. 妊娠・出産についての相談相手が身近にいないこと
- 4. 妊娠のための休暇制度がなかったこと
- 5. 上の子どもを見てくれる人がいないこと
- 6. 家事・育児の協力者がいないこと
- 7. 医療機関の情報が入りにくいこと
- 8. 出産できる医療機関が近くにないこと
- 9. 不妊治療の費用の負担が大きかったこと
- 10. 出産費用の負担が大きかったこと
- 11. その他( )
- 12. 特にない

(2) 出産やその後の育児に関して不安感や負担感を感じることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 出産に関して非常に不安や負担を感じる
- 2. 出産に関して何となく不安や負担を感じる
- 3. 育児に関して非常に不安や負担を感じる
- 4. 育児に関して何となく不安を感じる
- 5. あまり不安や負担は感じない
- 6. まったく感じない
- 7. なんともしない

----->>>【問12】へお進みください

問 11 は、問 6 で「2. 出産した」と回答した方がかいます。「1. 妊娠している」と回答した方は問 12 へお進みください。

問 11 妊娠中に妊娠や出産で困っていたこと、育児の不安感や負担感についておたずねします。

(1) あなたが妊娠中に、妊娠や出産について困っていたことはどのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 他の妊婦との交流の場が身近になかったこと
2. 妊娠・出産について情報や知識が入手しにくかったこと
3. 妊娠・出産についての相談相手が身近になかったこと
4. 妊娠のための休暇制度がなかったこと
5. 上の子どもを見てくれる人がいなかったこと
6. 家事・育児の協力がなかったこと
7. 医療機関の情報が入手しにくかったこと
8. 出産できる医療機関が近くなかったこと
9. 不妊治療の費用の負担が大きかったこと
10. 出産費用の負担が大きかったこと
11. その他 ( )
12. 特になかった

(2) あなたは妊娠中に、出産・育児に関して不安感や負担感を感じたことがありますか。  
(1つに○)

1. 非常に不安や負担を感じた
2. 何となく不安や負担を感じた
3. あまり不安や負担を感じなかった
4. まったく感じなかった
5. なんともいえない

問 12 から問 14 は、すべての方にうかがいます。

問 12 出産・育児に関して、不安に感じていることはどのようなことですか。(3つまでに○)

1. お子さんの病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
5. 配偶者・パートナーの協力が少ないこと
6. 配偶者・パートナーと意見が合わないこと
7. 配偶者・パートナー以外の親族の理解がないこと
8. 職場の理解がないこと
9. 配偶者・パートナー以外に出産・育児を手伝ってくれる人がいないこと
10. 地域のサービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと
11. その他 ( )
12. 特にない

問 13 出産・育児に関する不安や悩みを誰に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者・パートナー
2. 祖父母等の家族
3. 友人や知人
4. 近所の人
5. 子ども家庭支援センター(育ち愛ほっと館)の職員
6. NPO の職員
7. 保健所・健康支援センターの職員
8. 助産師や看護師
9. かかりつけの医師
10. 保育士
11. 幼稚園教諭
12. 民生委員・児童委員
13. 北区の子育て関連担当窓口の職員
14. 児童館(子どもセンター)の職員
15. インターネットで繋がる仲間
16. はひママ学級等で出会った地域の仲間
17. 出産から育児に関する相談相手がいらない
18. その他 ( )

問 14 出産・育児に関する情報を、どこから入手していますか。(3つまでに○)

1. 親族(親・兄弟姉妹など)
2. 近所の人、知人、友人
3. 子育てサークルの仲間
4. 区役所の窓口
5. 保育園、幼稚園、学校
6. 子ども家庭支援センター(育ち愛ほっと館)
7. 健康推進課各健康支援センター
8. 教育総合相談センター
9. 児童館(子どもセンター)
10. 北区ニュース(広報誌)
11. テレビ、ラジオ、新聞
12. 市販の子育て情報誌、育児書
13. インターネット
14. 北区子育て応援ガイド「きたハビモバイル」
15. 子育て支援メール
16. その他 ( )
17. 情報の入手段がわからない

**就労についておたずねします**

問 15 あなたの現在の就労形態、就労の有無などはどれですか。(1つに○)

※ 問 15～問 16-3までの「フルタイム」とは、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」を、「パート・アルバイト」とは上記以外を指します

1. フルタイムで就労している (産休・育休中でない) 2. フルタイムで就労している (産休・育休中である) 3. パート・アルバイト等で就労している (産休・育休中でない) 4. パート・アルバイト等で就労している (産休・育休中である) 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 7. その他 (例：病気休業中など) ( )	} 【問 15-1～16-3】 }
--	-------------------------

問 15-1 から問 15-3 は、問 15 で「1」から「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。現在就労していない方は問 16 にお進みください。

問 15-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。( ) 内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)

1週当たり  日  1日当たり  時間

問 15-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。( ) 内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

家を出る時間  時  時 帰宅時間  時  時

問 15-3 通勤手段として電車を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している  2. 利用していない

**パートナー(出産予定のお子さんの父親に当たる方)のお仕事についてうかがいます**

問 16 パートナー(お子さんの父親に当たる方)はどのようなお仕事をしていますか。(1つに○)

1. フルタイムで就労している (育休中でない) 2. フルタイムで就労している (育休中である) 3. パート・アルバイト等で就労している (育休中でない) 4. パート・アルバイト等で就労している (育休中である) 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 7. その他 (例：病気休業中など) ( )	} 【問 16-1～17-3】 }
--	-------------------------

問 16-1 から問 16-3 は、問 16 で「1」から「4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。現在就労していない方は問 17 にお進みください。

問 16-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。( ) 内に数字でご記入ください。数字は一律に一字)

1週当たり  日  1日当たり  時間

問 16-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。( ) 内に数字でご記入ください。数字は一律に一字。)

家を出る時間  時  時 帰宅時間  時  時

問 16-3 通勤手段として電車を利用していますか。(1つに○)

1. 利用している  2. 利用していない

**あなたの職場の状況についてうかがいます**

現在、就労している方にかかっています。就労していない方は問22にお進みください。

問17 妊娠・出産後、勤務時間の短縮や、フレックス勤務をしていますか（していませんか）。（1つに○）

1. はい 2. いいえ

問18 あなたの職場は、育児休業制度が取得しやすい環境だと思いませんか。（1つに○）

1. 取得しやすいと思う 2. どちらかと言えば取得しやすいと思う  
3. どちらかと言えば取得しにくいと思う 4. 取得しにくいと思う  
5. わからない

問19 仮に、あなたがこれから出産する場合、あなたは育児休業を取りたいと思いませんか。（1つに○）

1. 取っている・取りたい -----> 【問19-1へ】

2. 取っていない・取りたくない  
3. 取れない  
4. その他（ ）  
5. わからない

**問19-1は、問19で「1. 取っている・取りたい」と回答した方にかかっています。**

問19-1 どのくらいの期間、育児休業（現在の制度では、1歳6か月以後も保育園等に入れないなどの場合には、育児休業期間を最長2歳まで延長できます）を取る予定ですか。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する□□内には数字をご記入ください。（一桁に数字は一字。）

1. 出産後から□□年□□か月  
2. わからない

問20 仕事を持っている女性が妊娠・出産や子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業に普及してもらいたいと思うことは、どのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 妊娠を希望する人が医療機関にかかるための休暇がとれること  
2. 妊娠を希望する人が医療機関にかかる費用に補助金がでること  
3. 産前産後の休暇が十分に取得できること  
4. 育児のために、就業時間がある程度希望する時間帯に動かすことができること  
5. 育児のために、必要な期間、就業時間を短縮できること  
6. 男女問わず育児休業制度が利用しやすい環境にすること  
7. 子どもが病気やけがの時に休職がとれること  
8. 企業内に保育園を設けること  
9. 育児のために、自宅で仕事ができること  
10. 出産・育児のために会社を辞めた人を再雇用すること  
11. 職場での理解を深めること  
12. その他（ ）  
13. わからない

問21 あなたは、仕事と家庭生活のバランスに満足していますか。（1つに○）

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

問22 あなたは、今回の妊娠・出産を機に仕事をやめましたか、もしくは近々退職を考えていますか。（1つに○）

1. 今回の妊娠・出産を機に仕事をやめた・退職を考えている -----> 【問22-1へ】  
2. 今回の妊娠・出産を機に仕事をやめてはいない・退職を考えてはいない --> 【問22-3へ】  
3. 妊娠・出産ではない理由で仕事を辞めた  
4. これまでに就労したことがない }  
5. その他（ ）

**問22-1、問22-2は、問22で「1. 今回の妊娠・出産を機に仕事をやめた・退職を考えている」と回答した方にかかっています。**

問22-1 その理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもの預け先が見つからないから  
2. 職場の環境が育児休業を取得する雰囲気ではないから  
3. 復帰後、職場に対応（子どもの体調不良による欠勤等）できるか不安があるから  
4. 産後の育児や仕事に対する親族などからのサポートを得られないから  
5. 妊娠・出産にまつわる健康上の理由から  
6. 子育てに専念したかったから  
7. パートナーが子育てに専念することを望んだから  
8. その他（ ）

問22-2 今後、仕事につきたいと思いませんか。あてはまる番号1つに○をつけ、該当する□□内には数字をご記入ください。（一桁に数字は一字。）

1. 子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）  
2. 子どもが□□歳になったころに就労したい  
3. 出産後1年以内に就労したい  
→希望する就労形態  
〔ア. フルタイム  
1. パートタイム、アルバイト等  
→1週当たり□□日1日当たり□□時間〕

**問22-3は、問22で「2. 今回の妊娠・出産を機に仕事をやめてはいない・退職を考えてはいない」と回答した方にかかっています。**

問22-3 出産後も仕事を続ける理由または続けたいと思う理由をお答えください。（1つに○）

1. 自分の能力、技能、資格を活かすため  
2. 社会や他人とのつながりを持つため  
3. 生計を維持するため  
4. 将来に備えて貯蓄するため  
5. その他（ ）



**保育園・幼稚園等についてうかがいます**

問 23 あなたは、受診したお子さん（または妊娠中のお子さん）を保育園や幼稚園などに通わせたいと考えていますか。（1つに○）

1. 通わせたい -----▶ 【問23-1へ】  
 2. 通わせつもりはない } 【問24へ】  
 3. まだ分からない }

問 23-1 は、問 23 で「1. 通わせたい」と回答した方にかがいます。それ以外の方は、問 24 へお進みください

問 23-1 お子さんが「(1) いくつになったら」、「(2) どこに」通わせたいと考えていますか。

(1) いくつになったら通わせたいですか。(  の内に具体的な数字を記入)

才  か月

(2) どこに通わせたいですか。(あてはまるものすべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）  
 2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）  
 3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）  
 4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）  
 5. 小規模保育事業所（国が定める最低基準に適合した施設で中規模6～19人のもの）  
 6. 家庭的保育（保育ママ：保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）  
 7. 事業所内保育事業所（企業が従業員の子どもと地域の子どもを一掃に保育する施設）  
 8. 認証保育所（認可保育所ではないが、東京都が認証した施設）  
 9. その他の認可外の保育施設  
 10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもを家庭で保育する事業）  
 11. ファミリー・サポート・センター事業（地域住民が子どもの送り迎えなどをサポートする事業）  
 12. その他（ ）

(3) お子さんを保育園や幼稚園などに通わせたいと思う理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの教育や発達のため  
 2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している  
 3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である  
 4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している  
 5. 子育て（教育を含む）をしている方が病氣や障害がある  
 6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である  
 7. その他（ ）

問 23-1 (4) は、(2) で「1」または「2」に○をつけ、かつ「3」から「12」にも○をつけた方にかがいます。それ以外の方は、問 24 へお進みください。

(4) 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（1つに○）

1. はい 2. いいえ

問 24 北区では、妊娠期から子育てを切れ目なく支援する次のような事業を行っています。下記の事業を知っていたり、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。  
 (①～⑳の事業ごとに、A、Bそれぞれについて、該当する番号に○)

	A 認知度			B 利用意向	
	1 利用したいことがある	2 利用したいことはない	3 知らなかった	1 利用したい	2 利用したくない
【記入例】	①	2	3	①	2
①はひママ（たまご・ひよこ）面接 （妊娠届出された方、出産後6か月までの方に妊娠・出産・子育ての情報を提供のため、保健師・助産師・児童館職員等が面接を行います。）	1	2	3	1	2
②はひママ学級（母親学級） （妊娠・出産・赤ちゃんの世話を学ぶとともに、子育ての仲間づくりをすることを目的に実施しています。）	1	2	3	1	2
③VVAになるための半日コース（父親学級） （パートナーが妊娠中の方を対象に、妊娠・出産・赤ちゃんの世話を学ぶとともに、子育ての仲間づくりをすることを目的に実施しています。）	1	2	3	1	2
④産前産後セルフケア講座 （安定期以降の妊娠と産後120日までの乳児を持つ母親を対象としてエグザサイズによる身体のケアや子育てに関する情報の提供、情報交換を行います。）	1	2	3	1	2
⑤産後ケア事業 （産後1か月～6か月の赤ちゃんや母親のための産後専門相談など。）	1	2	3	1	2
⑥産後ショートステイ事業 （産後4か月以内の方を対象に助産師等で心身をケアし、授乳・育児等の相談もできます。）	1	2	3	1	2
⑦安心ママヘルパー （産前産後のお母さんが、育児の不安や負担を少しでも軽減できるように、家事や育児の補助として民間事業者のヘルパーを派遣します。）	1	2	3	1	2
⑧赤ちゃん訪問・育児相談 （母子の保健ハック」の中の「出生通知票」を区に送ると、ご自宅に保健師または助産師が訪問し、育児に関する相談やお母さんの産後の相談が受けられます。）	1	2	3	1	2
⑨健康推進課各健康支援センターの情報・相談サービス	1	2	3	1	2
⑩子ども家庭支援センター（育ち愛ほっと館）の子どもと家庭の総合相談、遊びのひろば	1	2	3	1	2
⑪子ども家庭支援センター（育ち愛ほっと館）の虐待相談・通告	1	2	3	1	2
⑫児童館（子どもセンター）の子育て支援（乳幼児クラブ等）	1	2	3	1	2
⑬地域子育て合い事業 （児童館（子どもセンター）と保育園が連携して、地域での子育て支援を行います。）	1	2	3	1	2
⑭北区子育てガイドブック（北区子育てマップ）・子どもたちの育つ姿・きたくのようちえん （区が発行している子育て情報冊子）	1	2	3	1	2
⑮赤ちゃん休けい室 （赤ちゃんのおむつ替えや母乳などができる簡易スペースを庁舎・区民施設・児童館を中心に設置しています。）	1	2	3	1	2

【次のページに続きます】

	A 認知度		B 利用意向	
	1 利用したことがある	2 利用したことはない	3 知らなかった	1 利用したい 2 利用したくない
【記入例】 ①はびママ（たまご・ひよこ）面接	1	2	3	2
②さくらんぼ園発達相談室	1	2	3	2
③子育てにっこりバスポート （中学生以下のお子さんがいる世帯に配布しているにっこりバスポート（カード）各区の協賛店に提示すると割引や特典が受けられる事業です。）	1	2	3	2
④みんな子育て育児応援プロジェクト （NVA講演会など）	1	2	3	2
⑤子育て応援ガイド「きたハビモバイル」 ～予約接種スケジュールの自動調整機能や、知りたい情報を目的別・年齢別に検索できるなど、子育てに役立つ機能が充実しているモバイルサイトおよびアプリです。）	1	2	3	2
⑥みんなでお祝い輝きバスデー （満1歳を迎えるお子さんと保護者を、児童館（子どもセンター）にお迎えし、誕生日をお祝いします。）	1	2	3	2

**出産・子育てに関して北区に期待することについてうかがいます**

問 25 以降は、すべての方にうかがいます。

問 25 北区は、総合的にみて、子育てしやすいところだと思いますか。（1つに○）

- 1. 子育てしやすい
- 2. ふつう
- 3. 子育てしにくい
- 4. わからない

問 26 あなたが（妊娠中／子どもを連れて）、外出の際にあれば良いと思うことをご自由にご記入ください。

問 27 北区に住み続けたいと思いますか。（1つに○）

- 1. 今後とも住み続けたい
- 2. 当面は住むつもり
- 3. できれば転居したい
- 4. 転居の予定がある
- 5. 先のことはわからない
- 6. その他（ ）

問 28 北区に対して、今後どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1. 児童館（子どもセンター）など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
- 2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
- 3. 子育てに困ったときに相談したり情報が行き渡る場所を作って欲しい
- 4. “子育ては楽しい”を積極的に広報・啓発して欲しい
- 5. 平日の保育施設（保育所など）を増やして欲しい
- 6. 子どもたちの居場所、活動拠点の整備をして欲しい
- 7. 地域で同世代・異世代が交流する機会を拡充して欲しい
- 8. 仕事をしなくても誰でも気軽に利用できる保育サービスが欲しい
- 9. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい
- 10. 多世代の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅の配慮が欲しい
- 11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい（仕事と生活の調和の実現）
- 12. 子ども・子育てにかかわる地域活動へ、父親など男性の参加を促進して欲しい
- 13. ホランテニア活動への市民参画を推進して欲しい
- 14. ファミリー・サポート・センター事業の活動を充実して欲しい
- 15. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
- 16. その他（ ）
- 17. わからない

問 29 最後に、安心して子どもを産み、健やかに育てていくための施策や、社会の制度のあり方などについてご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

記入もれがないかどうかもう一度お確かめのうえ、返信用封筒（切手は不要）に入れて、**10月31日（水）まで**にお近くのポストに投入してください。



北区 子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果報告書  
平成31年（2019年）3月発行

編集・発行 東京都北区教育委員会事務局子ども未来部子育て施策担当課  
〒114-8546  
東京都北区滝野川2-52-10  
03（3908）8143

調査分析 株式会社生活構造研究所

刊行物登録番号

30—〇—〇〇〇